

## 県本部・活動拠点本部会議（8月20日・朝）議事要旨

### ■決まったこと、全体への連絡事項

- ・ 熱中症対策用品の活用  
→昨日より八代・宇城拠点へ配布されている熱中症対策用バンドを、活動にて有効活用する。

### ■各拠点からの報告 ※特記事項

#### ● 八代地域

- ・ 3拠点に分かれて活動を継続中。
- ・ 本日15時から、被災高齢者等把握事業の打合せあり。明日から訪問を開始予定。

#### ● 宇城地域

- ・ 避難所アセスメント調査の実施  
→市からの要請に基づき、避難所のアセスメント調査を実施中。昼間の滞在人数や状況に応じて午後の体制を柔軟に調整予定。
- ・ 個別ニーズ対応として3チームが活動。
- ・ 子どもニーズに対応可能なチームは、聞き取りやニーズ把握を中心に、避難所を問わず広域的に巡回支援を実施する。
- ・ 市社協・災害ボランティアセンター（ボラセン）と連携し、特に懸念のある団地等での在宅避難者ニーズの把握および個別訪問を実施する。

#### ● 氷川地域

- ・ [公民館] 15:00より拠点化に向けた第2回会議を開催。
- ・ [東小学校] 19:30より避難所移転説明会が開催される。
- ・ [西部小学校] 出入口の一本化と入退所管理の強化に伴い、レイアウト変更および案内チラシの配布・説明、入館許可証の発行運用を開始。
- ・ [氷川中学校] 19日夜、移転に伴う説明会が実施された。意向調査の提出期限は8月21日まで。
- ・ [桜ヶ丘別荘] 高知 DMAT より2名応援派遣。

#### ● 本部

- ・ 障害者施設（グループホーム）の災害時受入枠の活用  
→「ふれあいワーク」へ確認したところ、空きのあるグループホームにおいて、災害時には特例として「家族一緒の入居・避難」が認められた前例がある旨を確認。各拠点で障害を持つ方やその家族の避難先調整・支援を行う際の選択肢となり得る。

## ■共有事項・確認事項

- ・ 障害者支援団体との連携可能性

→障害者支援団体への物資支援および挨拶を実施した際、電話相談件数の増加傾向が報告された。避難所等での対応・アプローチが難しい障害者支援ケースについては、外部の障害者支援団体との連携・相談が可能。